

令和6年度 小浜美郷小学校 学校評価

1 回答数	児童アンケート	301名 (100%)
	保護者アンケート	339名 ※ウェブ調査のため、児童一人に対し、複数(両親)回答あり
	教職員	21名 (100%)

2 評価方法	選択肢による4段階評価
	A:よくあてはまる
	B:どちらかと言えばあてはまる
	C:どちらかと言えばあてはまらない
	D:あてはまらない
	★AとBの合計を『肯定的評価』、CとDの合計を『否定的評価』とした

3 結果	別紙
------	----

4 考察

【確かな学力】について

今年度も「仲間と学びをひらく～仲間との対話でつながり 学びをつなげていく 子どもの育成～」という研究テーマのもと、対話を大切にしたい授業づくりに取り組んだ。しかしながら、児童の「友だちとつながって発表することが楽しいかどうか」と「私は授業がよくわかる」の回答は、横ばいとなった。本年度は、ICTを積極的に取り入れた授業改善にも力を入れた。児童によっては、発表することが苦手な児童がいるため、文言の再検討が必要だと考える。発表にこだわらず、ペアトークなどによる相互の意見交流など、発表が苦手な児童にとっても、意思表示しやすい方法で、理解が深まる「授業がわかる」よう手立てを考えていきたい。

読書については、数値目標には届かなかったが、昨年度に比べ、読書に関する肯定的な評価が大幅に増えている。図書委員会の工夫した取り組みや、時程の中に読書の時間を設定し、時間を確保した結果だと感じている。しかしながら、児童と保護者の評価に差異が見られるため、家庭での読書の姿が少ないことが予想できる。数値目標に更に近づくように、本が好きになる取り組みを継続するとともに、読書に関する話題をおたより等で発信するなどして、関心を高めていきたい。

【豊かな心】について

「元気なあいさつ」については、保護者の評価が2ポイント上がった。見守り隊の方など地域の方への挨拶指導の成果が少しずつ出てきているが、地区によって様子が異なるため、粘り強く指導する必要性を感じている。今後は挨拶の回数を増やすだけでなく、挨拶の効果や役割などについて考えさせる機会を設定し、気持ちのこもった挨拶や年間を通したよい挨拶ができるよう、委員会からの提案なども積極的に取り入れていきたい。

そうじについての評価は、1ポイント下がった。掃除用具の使い方、役割分担についての課題が見られるため、適切な指導助言をすることで、学年に応じた取り組みができるように工夫したい。リーダーを育てながら、後片付けまできちんとできるよう指導していきたい。

【たくましい心身】について

トコトタイム（業間活動）の児童の評価が年々上がってきている。年間を通した意欲付けの成果だと感じている。今後は、マラソン大会やなわとび大会の強化週間などを設定し、更なる活性化を図りたい。

元気アップカードの活用については、保護者の評価が4ポイント上がった。カードの内容の改善や委員会の取り組みが評価につながっている。

箸の持ち方については、保護者の評価が7ポイント上がった。長期休業中の「箸の持ち方チェック」の取り組みの成果である。来年度からは魚の食べ方に限定せず食事のマナー全般を評価する文言に変更したい。

【信頼される学校】について

学校教育目標の「～すべての子どもたちが安心して楽しく通える学校を目指して～」の評価にあたるのが、「わたしは、学校に通うことが楽しい。(児童)」 「うちの子は、楽しく学校に通っている。(保護者)」の項目である。児童・保護者の結果ともに、昨年度と比べ、ほぼ横ばいとなった。児童主体の活動の推進を図りながら、個に応じた指導を継続していく必要がある。

「学校公開や学校からのお便りから、学校の取り組みや考え方がわかるかどうか」については、昨年度より3ポイント向上した。QRコードを使った学校の取り組みの発信や、スプレッドシートによる、保護者の意見集約などにより、保護者と学校の意見の行き来が増えてきたと実感している。これらについては今後も継続し、信頼される学校づくりに努めていきたい。

R6 児童アンケート内容

R6 保護者アンケート内容

R6 教職員アンケート内容

%

項目	評価項目	今年度 数値目標	A+B	R5
			児童	
確かな学力				
	私は、友達の発表を聞き、つなげて発表することが楽しい。	85	82	81
	私は、授業がよくわかる。	90	88	89
	わたしは、読書が好きだ。	80	75	50
豊かな心				
	私は、学校生活で、友達やみんなのためにがんばっている。	80	85	80
	私は、自分から元気なあいさつをしている。	90	87	86
	私は、さわやかそうじに一生懸命取り組んでいる。	95	93	94
たくましい心身				
	私はトコトンタイムで時間いっぱい取り組んだり、身体を使った遊びや活動に一生懸命取り組んだりした。	95	93	92
	私はげんきアップカードで、早寝・早起き・朝ご飯、ノーメディアを守って生活している。	85	86	84
	私は、正しく箸を持ったり魚をきれいに食べたりしようと、努力した。	70	85	86
信頼される学校				
	私は、学校に通うことが楽しい。	100	89	89

項目	評価項目	A+B	R5
		保護者	
確かな学力			
	うちの子は、授業が楽しいと言っている。	88	87
	うちの子は、学習内容を理解している。	86	90
	うちの子は、読書が好きだ。	50	54
豊かな心			
	うちの子は、家庭・地域で進んで元気なあいさつをしている。	76	74
たくましい心身			
	うちの子は、「げんきアップカード」の活用により、基本的な生活習慣-早寝・早起き・朝ご飯-の確立が進んできている。	79	75
	うちの子は、正しく箸を持ったり魚をきれいに食べたりしようと、意識している。	77	70
信頼される学校			
	うちの子は、楽しく学校に通っている。	96	97
	学校公開や学校からのお便り等から、学校の取り組みや考え方がわかる。	99	96

項目	評価項目	A+B	Aのみ
		教職員	
確かな学力	ルーブリックに示した資質能力を意識した授業づくりに努めた。	100	45
	3S学習をベースに児童の主体的な発言を引き出し、児童同士がつながる授業づくりに努めた。	100	40
	子どもたちが分かりやすいように、工夫した授業を行った。	100	45
	本が好きになるよう工夫した指導を行った。	85	20
豊かな心	学級・学年・縦割り班の活動を通し、仲間とのつながりを実感できる活動の充実を図った。	95	60
	自己有用感を高めるため、仲間や集団の役に立つ実感を味わえる機会を設定した。	95	55
	学校・地域で元気なあいさつができるよう、継続した指導を行った。	85	45
	さわやかそうじに意欲的に取り組めるよう、工夫して指導を行った。	100	35
たくましい心身	ランニングや縄跳びの目標回数を立てたり、体育的行事の目標達成のためにトコトンタイムに一生懸命に取り組んだりする指導を行った。	90	40
	げんきアップカードを有効に活用し、基本的な生活習慣（早寝・早起き・朝ご飯）の確立を図った。	100	35
	情報モラルの指導を行った。	100	50
	箸の使い方や食事のマナーなどについて継続した指導をした。	80	20
信頼される学校	子どもの思いや考えを尊重し、子どもが安心して楽しく学校に通えるような教育活動を行った。	100	70
	学校公開やお便り、連絡帳などで、教員の思いや児童の様子などを発信した。	100	55

は、児童の数値目標より5ポイント以上低い

↖ は、R5よりも上がっているもの

↙ は、R5よりも5ポイント以上下がっているもの